栃木県立茂木高等学校

所在地　〒321-3595　芳賀郡茂木町大字茂木288
電　　話　0285-63-1201
ＦＡＸ　0285-63-1923
ＵＲＬ　http://www.tochigi-edu.ed.jp/motegi/nc2/
創　　立　大正11年
課　　程　全日制課程
設置学科　総合学科
生徒数　470名(男子233名 女子237名)(令和３年５月１日現在)
利用交通機関　真岡鐵道　茂木駅から徒歩12分

Ⅰ 学校の概要

１　学校教育目標

○学問の尊重
○情操と徳性の涵養
○自主性の涵養
○社会性の涵養
○健康の増進

２　目指す学校像

＜生徒の多様な進学希望に対応する進学型総合学科として＞
○進学型総合学科として幅広い選択科目を設定し、生徒の学習意欲を高め、生徒の多様な進学希望に対応し進路実現を図る学校
○総合学科としてキャリア教育を充実させ、望ましい職業観や勤労観を身に付け、社会人としての確かな資質をはぐくむ学校
○部活動や生徒会活動、ボランティア活動などに積極的に参加することを支援し、一人一人の可能性を高める学校

３　募集する生徒像

本校を強く志望する生徒で本校の教育目標・目指す学校像を理解し、次の（１）から（３）までの全てに該当する生徒
（１）基本的な生活習慣や学習習慣を身に付け、学習に意欲的に取り組み、進路実現を目指し努力をする生徒
（２）部活動、生徒会活動、ボランティア活動などに積極的に取り組み、自己の可能性を高める努力をする生徒
（３）総合学科としての本校の良さを理解し、将来に対して明確な目的意識を持ち、積極的な高校生活を送ろうと努力をする生徒

Ⅱ 学校、学科、コース、教育課程等の特色

１　学校の特色

本校は芳賀郡市で唯一の総合学科の高校です。総合学科は生徒一人ひとりの興味・関心や進路希望に応じて、必要な科目を選択して学ぶことができる学科です。一人ひとりが将来の進路を考えながら学習し、それぞれの個性や能力を伸ばすことができる学科といえます。

本校では多くの生徒が進学を希望し、進路実現のために熱心に学習に励んでおり、また部活動などの課外活動もさかんです。学力向上に向けての取り組みとして、土曜日の講座、長期休業中の課外授業、朝学time（始業前学習）等を実施しています。そのほかにも個別指導や面談など、生徒の学習・進路について、一人ひとりに対して細やかなサポートを行っています。学修室（平成29年度に整備）にはエアコンが備えられており、放課後、土曜日に生徒の自習のために開放されています。

本校は緑豊かな山々に囲まれ、静かな環境の中で落ちついて勉学や部活動に取り組める学校です。また校内には、卒業生を中心とした作家の絵画や陶芸などの作品が数多く展示されており、美術館のような雰囲気があります。

2　学習内容

１年次の数学・英語、２・３年次の各教科・科目で、少人数による習熟度別授業を行っています。２年次より各自の進路実現のために必要な科目を選択して学習します。大学進学を実現するために普通科目を中心とした科目選択もできますし、自分の関心や将来の進路などに応じた専門的な科目（商業・家庭・情報・体育・音楽・美術・英語）を選択することもできます。本校は進学を希望する生徒が多いので、進学に必要な力を伸ばすことができるよう教育課程が組まれています。また、選択科目により、全国家庭科技術検定・情報処理検定・簿記検定・電卓検定・ワープロ検定等が取得可能です。

キャリア教育として、１年次の「産業社会と人間」、２・３年次の「総合的な探究の時間」の中で「じぶん未来学」「課題研究」「言語活動」を通して、自分を知り、地域（社会）を知り、自分の生き方と社会の繋がりを考えながら、進路実現のための学習へ向かう姿勢を育みます。また、地域と連携した学習活動として、「ゆずも学(ゆずもは茂木町のイメージキャラクター)」を実施しています。さらに地域の様々な活動にボランティアとして参加するなど、学校外にも学習の場が多くあり、特に、地元文化施設「ふみの森もてぎ」では、「小学生学習支援」「百人一首体験教室・大会」「読書週間の特集棚作り」「工作教室」など、生徒が自主的に活動できる場があります。

Ⅲ　進路状況

進路別の割合は、令和２年度は大学60％、短大６％、専門学校等26％、就職８％です。国公立大学へは埼玉大学、宇都宮大学、茨城大学、群馬大学などへ20名が合格しました。私立大学の合格者は114名で難関大学、準難関大学にも合格しています。上級学校進学者はここ数年約90％で、その内訳は大学が60～65％、短大は幼児教育を中心に８％前後、専門学校は医療系を中心に30％前後となっています。就職はキャノン、花王など民間事業所に７名、栃木県警に２名、自衛隊に３名が就職することができました。

最近の主な進路（2018～20年度卒業生）

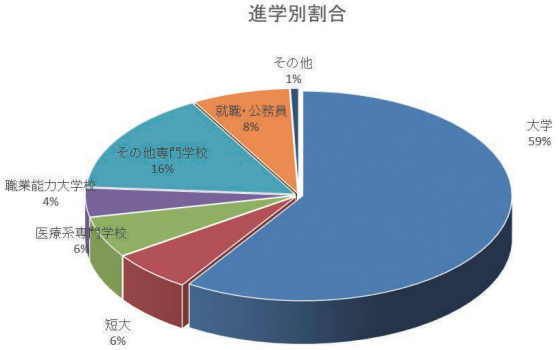
〔国公立大学〕
宇都宮大学　茨城大学　群馬大学　埼玉大学　弘前大学　山形大学
秋田大学　岩手大学　福島大学　室蘭工業大学　北海道教育大学　高知大学
釧路公立大学　会津大学　高崎経済大学　東京都立大学　秋田県立大学　都留文科大学
群馬県立県民健康科学大学　群馬県立女子大学　北九州市立大学　長岡造形大学　等

〔私立大学〕
明治大学　中央大学　法政大学　明治学院大学　駒澤大学　東洋大学　東京理科大学
日本大学　帝京大学　芝浦工業大学　武蔵大学　文教大学　東京電機大学　獨協大学
北里大学　東京経済大学　東海大学　神奈川大学　千葉工業大学　工学院大学
拓殖大学　亜細亜大学　大東文化大学　白鴎大学　作新学院大学　国際医療福祉大学　等

〔短期大学〕
作新学院大学女子短期大学部　國學院大學栃木短期大学　佐野日本大学短期大学
足利短期大学　川口短期大学　大月短期大学　岩手県立大学宮古短期大学部　等

〔各種専修学校等〕
栃木県立衛生福祉大学校　獨協医科大学附属看護学校　済生会宇都宮病院看護専門学校
栃木医療センター附属看護学校　大原学園宇都宮校　宇都宮ビジネス電子専門学校
国際情報ビジネス専門学校　関東職業能力開発大学校　栃木県農業大学校　等

〔主な就職先〕
栃木県警察　芳賀地区広域行政事務組合（消防）　自衛隊（一般曹候補生、自衛官候補生）
日産自動車　キャノン　花王　ジェーピーエス製薬　足利銀行　カルビー　等



茂木高校の総合学科は
あらゆる進路に適応します。

Ⅳ 特別活動等の紹介（学校行事、生徒会活動、部活動等）

1　学校行事

４月　入学式　生徒総会

５月　中間試験　遠足

６月　期末試験

７月　学校祭　インターンシップ　学習会

８月　中学生一日体験学習
夏季課外授業　保育園訪問　老人ホーム訪問

９月　生徒会役員選挙

10月　修学旅行　中間試験　体育大会

11月　創立記念講演会　持久走大会　家庭クラブ役員改選

12月　期末試験　大学見学

１月　大学入学共通テスト　歌留多大会

２月　学年末試験

３月　卒業式

体育大会（１０月）

持久走大会（１１月）

歌留多大会（１月）

2　部活動一覧と活動状況

（１）運動部

野　　球	女子バレーボール	男子バスケットボール	女子バスケットボール
ソフトテニス	卓　　球	剣　　道	柔　　道
弓　　道	陸　上　競　技	サ　ッ　カ　ー	

＊柔道部、弓道部、テニス部、バレーボール部、卓球部は関東大会や県上位に進出するなど、多くの実績を残しています。他の部も活発に活動し、各種大会で活躍しています。

（２）文化部

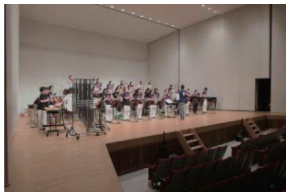
美　　術	茶 華 道	音　　楽	理　　科
調理手芸	箏　　曲	英　　語	

＊美術部は県高校美術展において最優秀賞受賞及び全国高等学校総合文化祭出品を果たすなど、めざましい成果をあげています。また、音楽部も東関東吹奏楽コンクールに出場したり、定期演奏会を開催したりするなど活躍しています。他の部もそれぞれに特色ある活動を行っています。

柔道部

弓道部

美術部


音楽部

3　令和元年度～２年度の主な成績

■柔道部

栃木県県総体関東高等学校柔道大会	男子団体第５位（関東大会出場）
関東ジュニア柔道体重別選手権栃木予選	女子個人準優勝（関東大会出場）

■弓道部

関東高等学校弓道大会栃木県予選	女子団体第３位（関東大会出場）

関東高等学校弓道大会	女子個人第８位
栃木県高等学校弓道新人大会	女子個人優勝
国民体育大会弓道競技関東ブロック予選	出場
■女子バレーボール部	
国民体育大会６人制バレーボール競技	出場
■美術部	
全国総合文化祭（佐賀大会）	工芸部門文化連盟賞
全国総合文化祭（佐賀大会）（和歌山大会）	デザイン部門文化連盟賞
栃木県高校デザイン展	最優秀賞（全国総合文化祭出場）
■音楽部	
栃木県吹奏楽コンクール　高校Ｂ部門	金賞（県代表）
東関東吹奏楽コンクール　高校Ｂ部門	銀賞

Ⅴ　特色選抜について

１　定員の割合

総合学科　　30％程度

２　出願するための資格要件

向学心に富み、自分の将来を切り開く強い意志を持ち、次の（１）から（３）までのいずれかに該当する者

（１）国語、社会、数学、理科、英語などによく努力し、本校入学後、上級学校への進学を強く希望し意欲的な学習に取り組む者

（２）スポーツ・文化活動や生徒会活動、ボランティア活動などに積極的に取り組み、本校入学後も学習との両立を図りながらそれらの活動に熱心に取り組む者

（３）日本漢字能力検定、実用英語技能検定、実用数学技能検定のいずれかの資格を有し、本校入学後、さらに上級の資格を取得しようと努力する者

３　選抜の方法

選抜方法	内　　容
面　　接	個人面接　時間10分程度
作　　文	時間40分　字数500 ～ 600字

４　その他、特記事項

なし

５　選抜の手順等

【資料の取扱い】

１　志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。

２　調査書は、

①第１学年から第３学年までの「各教科の学習の記録」の評定（選択教科を除く）を合計し、段階評価を行う。

②第１学年から第３学年までの、国語、社会、数学、理科、外国語の「学習の記録」の評定を合計し、段階評価を行う。

③「特別活動の記録」及び「行動の記録」は段階評価を行う。

④「文化活動・スポーツ活動・社会活動・特技等の記録」は、資格要件に該当するものについて段階評価を行う。

３　面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に審議し、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第１次審議

【資料の取扱い】２、３の評価を総合して、その結果が優秀である者のうち、特色選抜の募集定員の上位80％以内にある者（ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の上位80％以内にある者）の中から、合格内定者を選抜する。

第２次審議

第１次審議において合格内定となった者を除いた受検者のうち、【資料の取扱い】２、３の評価を総合して、その結果が良好である者の中から、合格内定者を選抜する。

第３次審議

第１・２次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。